

十一月二十四日、市内のホテルで「秋田市建都四百年記念秋田市歴史シンポジウム」が開かれ、約三百人が参加しました。

元秋田大学長の新野直吉さんがコーディネーターをつとめ、大学教授ら四人のパネリストが「外からみた秋田、内からみた秋田」と題し、地蔵田遺跡や秋田城跡の人々の暮らしぶり、佐竹義宣が秋田へ国替えとなった経緯、「文化」をキーワードにした今後の地域活性化策などについて、それぞれ意見を発表しました。

都市計画についてふれた前秋田経済法科大学学長の井上隆明さんは、「久保田城下のまちづくりは、京都などに見られる中国の方位学『四神相応』が用いられるなど、都市計画としては第一級」と述べ、レベルの高いまちづくりが行われていた事例を紹介。参加者は、先人が築いた歴史と未来のまちづくりについて理解を深めました。



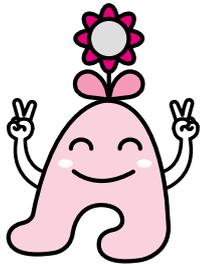
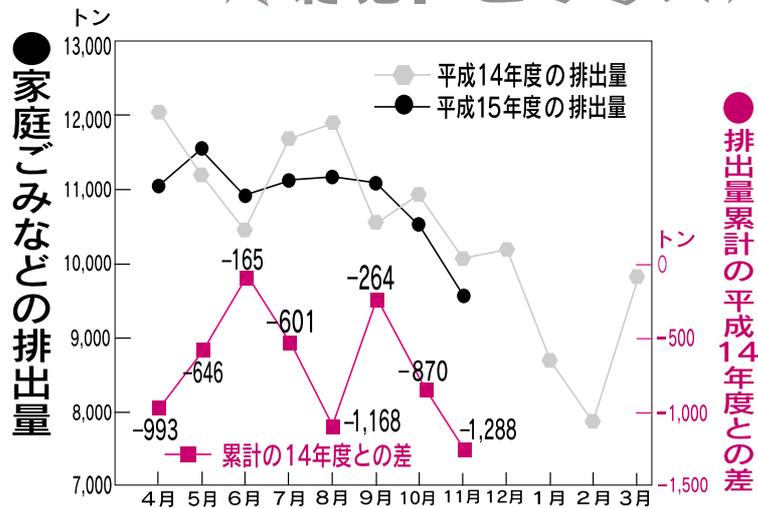
意見を発表するパネリストのみなさん



市では、ごみ減量作戦実施中！

問い合わせ 環境企画課tel(8 6 3) 6 6 3 2

★環境トピックス★



家庭ごみなどが約千300トン減りました

● 排出量累計の平成14年度との差

家庭ごみと粗大ごみの排出量は、このところ毎年、1千トン程度増加していましたが、平成15年度の排出量の累計は11月末現在で、前年にくらべ約千300トン(約1.45%)減少しました！

市民のみなさんのごみを減らすとすする日々の努力が、ごみ減量につながるものと考えられます。もっともっとごみが減るように、今後みなさんのご協力をお願いします。

12月は地球温暖化防止月間

地球温暖化は、異常気象や動物物の減少など、すでに私たちの暮らしに影響をもたらし始め、国際的な環境問題となっています。

その原因の一つである二酸化炭素の総排出量の4分の1は家庭から出ます。地球を温暖化から守るため、私たち一人ひとりが日常生活を見直し、できることから始めましょう。



はじめよう地球と人にやさしいエコライフ

できることから！ 家庭でできる二酸化炭素削減

- 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす
1年で二酸化炭素約240kg削減、燃料・電気代など約11,000円節約
 - コンセントをぬくなど待機電力を90%減らす
1年で二酸化炭素約87kg削減、電気代約6,000円節約
 - 1日5分間のアイドリングストップを行う
1年で二酸化炭素約39kg削減、燃料代約2,000円節約
 - 暖房を1 低く、冷房を1 高く温度設定する
1年で二酸化炭素約31kg削減、燃料・電気代など約2,000円節約
- 二酸化炭素 1kgは、2リットルのペットボトル255本分の容量になります！

生ごみの水分減量

ごみ出しの前にもうひとしぼり調理は適量に！
食べ残しを減らそう



紙類のリサイクル

紙箱、ダイレクトメール、包み紙など、リサイクルできる紙ごみを家庭ごみからリサイクルへと救いだそう！